
常光徹年譜

1948年 (昭和23年)

8月23日 高知県高岡郡中土佐町久礼に生まれる

1973年 (昭和48年)

3月31日 國學院大學経済学部経済学科卒業

4月1日 東京都公立中学校教員(練馬区立大泉西中学校 社会科担当)

1991年 (平成3年)

3月31日 東京都公立中学校教員退職(文京区立茗台中学校)

1994年 (平成6年)

4月1日 学習院大学文学部非常勤講師(1995年3月31日まで)

桐朋学園大学短期大学部非常勤講師(1998年9月30日まで)

1995年 (平成7年)

4月1日 宮城教育大学教育学部非常勤講師(集中講義)

1996年 (平成8年)

4月1日 國學院大學文学部兼任講師(現在に至る)

1997年 (平成9年)

4月1日 成城大学文芸学部非常勤講師(1998年3月31日まで)

1998年 (平成10年)

10月1日 国立歴史民俗博物館民俗研究部助教授

総合研究大学院大学文化科学研究科助教授(併任)

2001年 (平成13年)

7月17日～9月2日 企画展示「異界万華鏡—あの世・妖怪・幽霊—」展示プロジェクト代表

2004年 (平成16年)

11月 博士(民俗学) 國學院大學

2006年 (平成18年)

4月1日 国立歴史民俗博物館研究部教授

総合研究大学院大学教授(文化科学研究科)

2007年 (平成19年)

4月1日 総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻長(2008年3月31日まで)

総合研究大学院大学教育研究評議会評議員(2008年3月31日まで)

2008年 (平成20年)

4月1日 国立歴史民俗博物館副館長(併任・2010年3月31日まで)

人間文化研究機構企画連携室員(2010年3月31日まで)

10月15日 広報連携センター長事務代理(2009年3月31日まで)

2009年 (平成21年)

7月18日～8月30日 人間文化研究機構連携展示「百鬼夜行の世界」展示プロジェクト副代表

2014年 (平成26年)

3月31日 国立歴史民俗博物館を定年により退職

所属学会・社会活動など

日本民俗学会(第28期会長) 日本口承文芸学会(平成13年～14年度会長) 日本民具学会 説話・伝承学会 日本昔話学会 日本文藝家協会会員 高知県観光特使ほか
非常勤講師(国立歴史民俗博物館着任以降)

國學院大學大学院
弘前学院大学大学院・文学部
京都精華大学人文学部
大妻女子大学比較文化学部
神奈川大学大学院
宮城教育大学教育学部
新潟大学大学院・人文学部
富山大学大学院・人文学部
筑波大学大学院
熊本大学大学院

常光徹主要業績目録

I 単行書

1. 『学校の怪談—口承文芸の展開と諸相』(403頁) ミネルヴァ書房 1993年7月(2013年新装版)
2. 『うわさと俗信—民俗学の手帖から』(262頁) 高知新聞社 1997年3月
3. 『親指と霊柩車—まじないの民俗』(95頁) (財)歴史民俗博物館振興会 2000年9月
4. 『しぐさの民俗学—呪術的世界と心性』(330頁) ミネルヴァ書房 2006年9月
5. 『妖怪の通り道—俗信の想像力』(335頁) 吉川弘文館 2013年7月

II 編著書

1. 『土佐の世間話—今朝道爺異聞』(210頁) 青弓社 1993年5月
2. 『妖怪変化—民俗学の冒険③』(234頁) ちくま新書 1999年8月
3. 『国立歴史民俗博物館研究報告 第174集—兆・応・禁・呪の民俗誌』(317頁) 国立歴史民俗博物館 2012年3月
4. 『河童とは何か—歴博フォーラム 民俗展示の新構築』岩田書院 2014年3月刊行

III 共編著書

1. 『三右衛門話—能登の昔話』(大島広志との共編)(245頁) 桜楓社 1976年6月
2. 『日本伝説体系 第5巻 南関東編』(宮田登他との共編)(425頁) みずうみ書房 1986年9月
3. 『扇屋おつる—岩手県衣川の昔話』(花部英雄との共編)(328頁) みちのく民芸企画 1987年1月
4. 『昔話・伝説小事典』(野村純一他との共編)(305頁) みずうみ書房 1987年11月
5. 『怖いうわさ 不思議なはなし—現代の妖怪と異界—』(常光徹・松谷みよ子責任編集)(92頁) 童心社 1993年11月
6. 『ピアスの白い糸—日本の現代伝説』(池田香代子他との共編)(226頁) 白水社 1994年11月
7. 『魔女の伝言板—日本の現代伝説』(近藤雅樹他との共編)(236頁) 白水社 1995年11月
8. 『走るお婆さん—日本の現代伝説』(大島広志他との共編)(206頁) 白水社 1996年11月
9. 『幸福のEメール—日本の現代伝説』(岩倉千春他との共編)(214頁) 白水社 1999年11月
10. 『日本の民話を学ぶ人のために』(斎藤寿始子他との共編)(344頁) 世界思想社 2000年10月
11. 『異界談義』(山田慎也他との共著)(243頁) 角川書店 2002年7月
12. 『講座日本の伝承文学 第9巻 口頭伝承の世界』(福田晃他との共編)(418頁) 三弥井書店 2003年7月
13. 『鳥海山麓のむかし話—佐藤タミの語り』(黒沢せいことの共編)(495頁) イズミヤ出版 2009年8月
14. 『知っておきたい日本の年中行事事典』(福田アジオ他との共編)(201頁) 吉川弘文館 2012年2月
15. 『日本怪異妖怪大事典』(小松和彦他との共編)(658頁) 東京堂出版 2013年7月

IV 論文

1. 「三右衛門話考」『昔話伝説研究』5号 46~57頁 昔話伝説研究会 1975年10月
2. 「蜘蛛の俗信—朝グモ夜グモをめぐって—」『民話と文学』7号 104~118頁 民話と文学の会 1980年5月
3. 「『猿轡入』の地域的変化—新潟県守門村の場合—」『民話と文学』12号 55~63頁 民話と文学の会 1982年12月
4. 「食わず女房の結末」『昔話伝説研究』10号 15~22頁 昔話伝説研究会 1983年7月
5. 「世間話の担い手—佐藤基三と佐々木時次郎—」野村純一編『昔話の語り手』135~157頁 法政大学出版局 1983年12月
6. 「タニシ息子の形態と諸相」『昔話伝説研究』11号 22~33頁 昔話伝説研究会 1985年1月
7. 「学校の世間話」『昔話伝説研究』12号 12~34頁 昔話伝説研究会 1986年3月

-
8. 「猫と南瓜」説話・伝承学会編『説話・伝承学 86』248～268頁 桜楓社 1987年4月
 9. 「伝説と俗信—伏せる・被せる伝承の一側面—」『昔話伝説研究』13号 88～101頁 昔話伝説研究会 1987年7月
 10. 「予兆譚と事実—カラス鳴きと子供の心意伝承—」『民話の手帖』33号 53～64頁 日本民話の会 1987年10月
 11. 「隅のば様と現代の民話」説話・伝承学会編『説話・伝承学 88』204～209頁 桜楓社 1988年4月
 12. 「ツッパリと学級共同体」『民話と文学』20号 87～93頁 民話と文学の会 1988年10月
 13. 「伝説と年中行事—田村麻呂の悪竜退治譚をめぐる—」『口承文芸の教材化調査研究資料』145号 41～54頁 財団法人日本私学研究所 1989年3月
 14. 「うわさとしての怪談」『民話の手帖』39号 27～37頁 日本民話の会 1989年4月
 15. 「子どもと妖怪」岩本通弥・小林忠雄編『都市民俗学へのいざない I 混沌と生成』41～51頁 雄山閣 1989年5月
 16. 「異人殺し伝承の創造」『口承文芸研究』13号 76～86頁 日本口承文芸学会 1990年3月
 17. 「境界の呪具—一籌」常光徹『学校の怪談—口承文芸の展開と諸相—』344～370頁 ミネルヴァ書房 1993年2月
 18. 「生活のなかの俗信—新潟県古志郡山古志村」常光徹『学校の怪談—口承文芸の展開と諸相—』370～391頁 ミネルヴァ書房 1993年2月
 19. 「親指と霊柩車—しぐさの民俗—」『世間話研究』6号 43～54頁 世間話研究会 1995年9月
 20. 「異界を覗く呪的なしぐさ」野村純一編『昔話伝説研究の展開』402～419頁 三弥井書店 1995年3月
 21. 「世間話について」『川崎の世間話』10～18頁 川崎市市民ミュージアム 1996年3月
 22. 「肝試し譚における怖さの変容」『説話・伝承学』第5号 9～17頁 説話伝承学会 1997年4月
 23. 「絵巻のなかの呪術的なしぐさ」『聴く語る 創る』4号 2～13頁 日本民話の会 1997年10月
 24. 「にが手とまむし指」『西郊民俗』160号 1～4頁 西郊民俗談話会 1997年9月
 25. 「『同時に同じ』は危険な関係—ハッピーアイスクリームと相孕みの習俗—」『世間話研究』8号 11～26頁 世間話研究会 1998年5月
 26. 「変容するハナシー—学校の怪談から」日本児童文学学会編『研究日本の児童文学4・現代児童文学の可能性』71～94頁 東京書籍 1998年8月
 27. 「伝説と昔話—伝説の三つの特徴—」小松和彦・野本寛一編『講座日本の民俗学8 芸術と娯楽の民俗』38～58頁 雄山閣出版 1999年8月
 28. 「股のぞきと狐の窓—妖怪の正体を見る方法—」常光徹編『妖怪変化—民俗学の冒険③』ちくま新書 26～60頁 1999年8月
 29. 「登場者と話型」『國文學—昔話・通底するフォークテイルズ』44巻14号 47～51頁 學燈社 1999年12月
 30. 「食わず女房と歳の晩」日本昔話学会編『昔話と俗信—昔話研究と資料—』28号 24～48頁 三弥井書店 2000年7月
 31. 「現代の話の生成」『日本の民話を学ぶ人のために』206～221頁 世界思想社 2000年10月
 32. 「風を追う声—大声の呪力—」大島建彦編『民俗のかたちとところ』331～340頁 岩田書院 2002年3月
 33. 「妖怪絵巻と民間説話—『土佐お化け草紙』の民俗的背景—」国立歴史民俗博物館編『異界談義』11～32頁 角川書店 2002年7月
 34. 「三歳の民俗—子どもの成長と社会的承認」『子どもの文化』34巻12号 24～29頁 子どもの文化研究所 2002年12月
 35. 「クシャミの俗信と昔話」福田晃編『伝承文化の展望—日本の民俗・古典・芸能』208～222頁 三弥井書店 2003年1月
 36. 「二股の霊性と怪異伝承」小松和彦編『日本妖怪学大全』425～443頁 小学館 2003年4月
 37. 「諺と俗信」福田晃他編『講座日本の伝承文学 第9巻 口頭伝承の世界』406～418頁 三弥井書店 2003年7月
-

-
38. 「息を『吹く』しぐさと『吸う』しぐさ—ウソブキとねず鳴きの呪術性」『国立歴史民俗博物館研究報告 第108集—開館二〇周年記念論文集』国立歴史民俗博物館 255～270頁 2003年10月
 39. 「祟りと摂食行為」『説話・伝承学』12号 15～20頁 説話・伝承学会 2004年3月
 40. 「乗り物のうわさ話—明治時代の『偽汽車』と『消える乗客』—」岩瀬博他編『講座日本の伝承文学 第10巻 口頭伝承〈ヨミ・カタリ・ハナシ〉の世界』397～410頁 三弥井書店 2004年8月
 41. 「後ろ向きの俗信—異界と接触する作法」福田アジオ他編『環境・地域・心性—民俗学の可能性』353～372頁 岩田書院 2004年9月
 42. 「『一声』と『二声』, 『片道』と『往復』の民俗—心意伝承の論理」野村純一編『伝承文学研究の方法』459～470頁 岩田書院 2005年3月
 43. 「描かれた神の木—二股と連理の木をめぐって」『真澄学』第3号 22～33頁 東北芸術工科大学東北文化研究センター 2006年11月
 44. 「世間話」日本口承文芸学会編『シリーズことばの世界 第3巻 はなす』123～134頁 三弥井書店 2007年12月
 45. 「巳正月と御田植祭にみる『後ろ向き』の行為について」『国立歴史民俗博物館研究報告 第142集—宗教者の身体と社会』国立歴史民俗博物館 355～380頁 2008年3月
 46. 「俗信と由来譚—中国浙江省の調査から」説話・伝承学会編『説話・伝承の脱領域』343～353頁 岩田書院 2008年4年
 47. 「怪談と子どもの文化」『別冊子どもの文化』40巻7号 14～21頁 子供の文化研究所 2008年7月
 48. 「伝承と俗信のなかの動物」中村生雄・三浦祐之編『人と動物の日本史4 信仰のなかの動物たち』吉川弘文館 2009年4月
 49. 「俗信と心意現象」宮本袈娑雄・谷口貢編著『日本の民俗信仰』167～183頁 八千代出版 2009年6月
 50. 「絶縁の呪力—縁切榎の由来をめぐって」小松和彦編『妖怪文化研究の最前線』230～243頁 せりか書房 2009年10月
 51. 「蚊帳と幽霊」小松和彦編『妖怪文化の伝統と創造』286～301頁 せりか書房 2010年9月
 52. 「なめら筋—妖怪の通り道—」國學院大学文学部花部英雄研究室『平成22年度特別推進研究調査報告書 音声としての呪文・呪歌・唱え言の総合的研究』20～28頁 2011年5月
 53. 「昔話と生活道具」花部英雄・松本孝三編『語りの講座 昔話を知る』143～160頁 三弥井書店 2011年11月
 54. 「流行病と予言獣」『国立歴史民俗博物館研究報告 第174集—兆・応・禁・呪の民俗誌』183～200頁 国立歴史民俗博物館 2012年3月
 55. 「道具と俗信—鍋と鍋蓋①」『民具マンスリー』第45巻1号 13～22頁 神奈川大学 2012年4月
 56. 「道具と俗信—鍋と鍋蓋②」『民具マンスリー』第45巻2号 14～22頁 神奈川大学 2012年5月
 57. 「道具と俗信—鍋と鍋蓋③」『民具マンスリー』第45巻7号 15～23頁 神奈川大学 2012年10月

V 研究ノート・資料報告

〈研究ノート〉

1. 「地滑り伝説—新潟県・山古志の民話—」『地域文化研究—特集・山と里の民話』第5巻1号 12～13頁 地域文化研究会 1984年12月
 2. 「禁忌と連想」『ふおくろあゝの眼』60～69頁 堺屋図書 1986年10月
 3. 「噂ばなしの現代性」『民話の手帖』37号 21～23頁 日本民話の会 1988年10月
 4. 「年中行事と民話」『ガイドブック 日本の民話』319～329頁 日本民話の会 1991年11月
 5. 「現代伝説の魅力」近藤雅樹他編『魔女の伝言板—日本の現代伝説』215～231頁 白水社 1995年11月
 6. 「広島に行く?—恐怖のイメージ」『語りの世界』29 14～19頁 語り手たちの会 1999年11月
 7. 「霊柩車をみたら親指を隠すおまじない」『現代風俗2001 物語の風俗 現代風俗研究会年報第23号』66～77頁 河出書房新社 2001年9月
 8. 「土佐お化け草紙」『怪』12号 194～197頁 角川書店 2001年12月
-

9. 「漁と海に関する俗信」福田アジオ編『中国江南沿海村落民俗誌—浙江省象山県東門島と温嶺市箬山—』237～240頁 神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科 2006年3月
10. 「しぐさと呪い」『歴史研究の最前線 日本人の心性を探る』70～100頁 総研大日本歴史研究専攻・国立歴史民俗博物館 2006年3月
11. 「柳田国男から渡された俗信カード」『國學院大學近世文学会会報』13号 國學院大學近世文学会 28～31頁 2007年3月
12. 「『遠野物語』の俗信的世界」『聴く語る 創る』19号 80～97頁 日本民話の会 2010年9月
13. 「禁忌と制裁—柳田国男が鈴木棠三に求めたもの」『国立歴史民俗博物館研究報告 第165集—日本における民俗研究の形成と発展に関する基礎研究』国立歴史民俗博物館 279～286頁 2011年3月
14. 「箕と俗信—あおる・たてる・かぶせる—」『国立歴史民俗博物館研究報告 第181集—自然と技の生活誌』国立歴史民俗博物館 2014年3月刊行

〈資料報告〉

1. 「石川県珠洲市の昔話と伝説(1)」(資料集)(自刊・孔版) 常光徹 1973年1月
2. 「石川県珠洲市の昔話と伝説(2)」(資料集)(自刊・孔版) 常光徹 1974年8月
3. 「年中行事」『山古志村史 民俗』新潟県山古志村 1983年7月
4. 「信仰」『山古志村史 民俗』新潟県山古志村 1983年7月
5. 「俗信」『山古志村史 民俗』新潟県山古志村 1983年7月
6. 「中学生の知っているこわい話(1)」(世間話資料)『不思議な世界を考える会会報』17号 1989年9月
7. 「中学生の知っているこわい話(2)」(世間話資料)『不思議な世界を考える会会報』18号 1989年12月
8. 「ヤングの知っているこわい話③ 信州豊南女子短大」(世間話資料)『不思議な世界を考える会会報』19号 1990年4月
9. 「金しばり—その時見えたもの」(世間話資料)『世間話研究』2号 世間話研究会 1990年3月
10. 「ヤングの知っているこわい話(Ⅳ)」(世間話資料)『不思議な世界を考える会会報』20号 1990年7月
11. 「土佐・四万十川流域の伝説(1)」(伝説資料)『昔話伝説研究』17号 昔話伝説研究会 1996年9月
12. 「土佐・四万十川流域の伝説(2)」(伝説資料)『昔話伝説研究』18号 昔話伝説研究会 1997年5月
13. 「『謎立』翻刻」(共著 金子美和・常光徹・吉川永司)『昔話伝説研究』6号 昔話伝説研究会 1977年7月
14. 「土佐・四万十川流域で聞いた昔話(1)」(昔話資料)『昔話伝説研究』19号 昔話伝説研究会 1999年3月
15. 「土佐・四万十川流域で聞いた昔話(2)」(昔話資料)『昔話伝説研究』21号 昔話伝説研究会 2000年5月
16. 「土佐・四万十川流域で聞いた昔話(3)」(昔話資料)『昔話伝説研究』22号 昔話伝説研究会 2002年3月
17. 「佐藤タミさんの昔語り(一)」(昔話資料)『昔話伝説研究』23号 昔話伝説研究会 2003年4月
18. 「佐藤タミさんの昔語り(二)」(昔話資料)『昔話伝説研究』24号 昔話伝説研究会 2004年5月
19. 「佐藤タミさんの昔語り(三) —秋田県島海村上平根—」(昔話資料)『昔話伝説研究』25号 昔話伝説研究会 2005年5月
20. 「資料」(俗信・中国浙江省温嶺市)福田アジオ編『中国江南沿海村落民俗誌—浙江省象山県東門島と温嶺市箬山—』神奈川大学大学院歴史民俗資料学研究科 2006年3月
21. 「中国浙江省象山県東門島の俗信(一)」(俗信資料)『昔話伝説研究』27号 昔話伝説研究会 2007年5月
22. 「予言をする妖怪」(妖怪資料)『渋谷近世—國學院大學近世文学会会報』17号 國學院大學近世文学会 2011年3月

Ⅵ 書評

1. 「池田町昔話・伝説資料集編集委員会編『阿波池田町の昔話と伝説—資料集—』(池田町ふるさとづくり運動推進協議会)『昔話伝説研究』7号 昔話伝説研究会 1978年11月
2. 「野村純一著『昔話伝承の研究』(同朋舎出版)『図書新聞』1984年9月29日号
3. 「佐々木勝・佐々木美智子著『日光街道 千住民俗誌—宿場町の近代生活』(名著出版)『國學院雑誌』87巻3号 1986年3月
4. 「松谷美みよ子編『昔話十二か月』(講談社)『図書新聞』1986年10月25日号

-
5. 「石上七鞘著『化粧の伝承』(〔株〕おうふう)、『滴』4号 國學院大學広報課 1987年4月
 6. 「関敬吾博士米寿記念論文集『民間説話の研究—日本と世界—』(同朋舎出版)、『藝能』29巻11号 1987年11月
 7. 「松谷みよ子『現代民話考—一期・二期—』(立風書房)、『口承文芸研究』11号 日本口承文芸学会 1988年3月
 8. 「三浦佑之著『村落伝承論—遠野物語から—』(五柳書院)、『民話の手帖』36号 日本民話の会 1988年7月
 9. 「野村純一他編『日本伝説体系』全十五巻 別巻二(みずうみ書房)、『民話の手帖』45号 日本民話の会 1990年11月
 10. 「飯島吉晴著『子供の民俗学』(新曜社)、『民話の手帖』49号 日本民話の会 1991年11月
 11. 「三浦佑之著『昔話にみる悪と欲望—継子・少年英雄・隣のじい—』(新曜社)、『週刊読書人』1992年5月18日号
 12. 「福田晃・渡邊昭五編『伝承文学とは何か』(三弥井書店)、『口承文芸研究』19号 日本口承文芸学会 1996年3月
 13. 「倉本四郎著『妖怪の肖像』(平凡社)、『週刊読書人』2000年4月21日号
 14. 「松谷みよ子著『現代の民話—あなたも語り手, 私語り手』(中公新書)、『週刊読書人』2000年10月20日号
 15. 「アダム・カバット著『江戸滑稽化物尽くし』(講談社)、『しんぶん赤旗』2003年6月2日付
 16. 「一柳廣孝編著『学校の怪談はささやく』(青弓社)、『日本文学4』日本文学協会 2006年4月
 17. 「堤邦彦著『女人蛇体』(角川書店)、『週刊読書人』2006年10月13日号
 18. 「香川雅信著『江戸の妖怪革命』(河出書房新社)、『日本民俗学』250号 日本民俗学会 2007年5月
 19. 「永池健二著『逸脱の唱声 歌謡の精神史』(泉社)、『図書新聞』2012年1月28日号

Ⅶ 事典・図録など

1. 「説教師と昔話」「昔話の冒頭句」など9項目(「民話の事典」)、『國文學』21巻15号 學燈社 1976年11月
 2. 「蛙」「蜘蛛」「南天」など250項目 鈴木棠三『日本俗信辞典 動植物編』角川書店 1982年11月
 3. 「朝日長者」「長者伝説」「機織り淵」など7項目 『平凡社 大百科事典』平凡社 1984年11月
 4. 「動物昔話」「蛇髻入」「藁しべ長者」など6項目 『世界歴史大事典』教育出版センター 1985年4月
 5. 「硯土」「墨師」「算盤屋」など6項目 鈴木棠三編『日本職人辞典』東京堂出版 1985年10月
 6. 「始祖伝説」「田螺長者」など29項目 野村純一他編『昔話小事典』みずうみ書房 1987年11月
 7. 「吉四六」「彦一」など4項目 『日本架空伝承人名事典』平凡社 1986年9月
 8. 「一寸法師」「食わず女房」など5項目(「昔話六十選」)、『別冊 國文學』41 學燈社 1991年2月
 9. 「鍛冶屋の婆」「弘法伝説」「桶屋」など16項目 日本民話の会編『ガイドブック日本の民話』講談社 1991年11月
 10. 「シルマシ」「山人」など6項目 野村純一他編『遠野物語小事典』ぎょうせい 1992年3月
 11. 「朝日長者伝説」など3項目(日本「神話・伝説」総覧)、『歴史読本特別増刊 事典シリーズ16』新人物往来社 1992年10月
 12. 「絵姿女房」「地藏浄土」など5項目 乾克己他編『一冊で日本の心を知る100話を読む』友人社 1992年11月
 13. 「寺川郷談」など3項目 『日本異端書偽書大鑑』新人物往来社 1994年4月
 14. 「一つ目小僧その他」など2項目 『柳田国男事典』勉誠出版 1998年7月
 15. 「地名の由来にはどんなものがあるか」など10項目 新谷尚紀編『民俗学がわかる事典』日本実業出版社 1999年9月
 16. 「小豆洗い」「怪談」など12項目 福田アジオ他編『日本民俗大辞典 上』吉川弘文館 1999年10月
 17. 「人魂」「妖怪」など11項目 福田アジオ他編『日本民俗大辞典 下』吉川弘文館 2000年3月
-

-
18. 「世間話の世界」『企画展 土佐のむかしばなしと伝説』(図録) 高知県立文学館 2001年6月
 19. 「妖怪変化の時空」など26項目『異界万華鏡—あの世・妖怪・占い—』(図録) 国立歴史民俗博物館 2001年7月
 20. 「佐倉惣五郎」藤島秀隆他編『日本説話小事典』大修館書店 2002年4月
 21. 「土佐のお化けたち」高知県立歴史民俗資料館『あの世・妖怪・陰陽師—異界万華鏡・高知編—』(図録) 高知県立歴史民俗資料館 2003年7月
 22. 「カラスと黒猫」など4項目 八木透・政岡伸洋編著『こんなに面白い民俗学』株式会社ナツメ社 2004年3月
 23. 「神を助けた話」「口承文芸史考」「昔話覚書」渡辺公三他編『文化人類学文献事典』弘文堂 2004年12月
 24. 「妖怪と想像力」『第48回企画展 妖怪現る—心の闇にひそむものたち』(図録) 小山市立博物館 2005年4月
 25. 「河童」など3項目 歴史学会編『郷土史大辞典(上)』朝倉書店 2005年6月
 26. 「祟り」「妖怪」など6項目 歴史学会編『郷土史大辞典(下)』朝倉書店 2005年6月
 27. 「河童・川太郎図」など10項目 国立科学博物館展示『化け物の文化誌展—化け物に注がれた化学の目』(図録) 独立行政法人国立科学博物館 2006年10月
 28. 「箒の俗信」「犬神の由来」国立歴史民俗博物館監修『歴博万華鏡』朝倉書店 2007年10月
 29. 「身ぶり」樺山紘一責任編集『歴史学事典15 コミュニケーション』弘文堂 2008年6月
 30. 「海坊主」「怪談」小島美子他監修『祭り・芸能・行事大事典(上)』朝倉書店 2009年11月
 31. 「ポルターガイスト」「霊柩車」小島美子他監修『祭り・芸能・行事大事典(下)』朝倉書店 2009年11月
 32. 「衣更」「祇園祭り」「盆」など21項目 福田アジオ他編『知っておきたい日本の年中行事』吉川弘文館 2012年2月
 33. 「七不思議」「火の玉」など4項目 小松和彦監修『日本怪異妖怪大事典』東京堂出版 2013年7月

Ⅷ 解説・エッセイ・対談など

1. 「語り手—坂戸稔氏を訪ねて—」『奥越地方昔話集』 國學院大學民俗文学研究会 1972年6月
2. 「日本のおどけ者たち 三右衛門ばなし」『民話と文学』2号 民話と文学の会 1977年11月
3. 「ゲジゲジと禿」『民話の手帖』8号 日本民話の会 1981年10月
4. 「浄法寺町の伝説」(共著 常光徹・小宮弘美・欠端幹仁・赤井武治)『浄法寺町昔話集』 荻野書房 1982年6月
5. 「浄法寺町の妖怪—アクドボッポリー—」(共著 常光徹・小宮弘美・欠端幹仁・赤井武治)『浄法寺町昔話集』 荻野書房 1982年6月
6. 「窓ガラスを破損するなど粗暴な生徒の指導」近藤政明・塚本正基編著『中学校非行対策事例集』 教育出版 1982年9月
7. 「雀の俗信」『民話と文学』13号 民話と文学の会 1983年6月
8. 「みそをつけた話」『和』20号 東久留米市教職員互助会 1983年12月
9. 「ゆきずりの語り手—土佐禰原町から—」『民話の手帖』19号 日本民話の会 1984年4月
10. 「足もとの伝承」『民話と文学の会 かいほう』40号 民話と文学の会 1985年1月
11. 「平家伝説地総覧」(共著 常光徹・花部英雄・高木史人)『歴史読本』30巻7号 新人物往来社 1985年4月
12. 「おどけ者の語り—笑いの背景』『民話と文学』16号 民話と文学の会 1985年10月
13. 「全国弁慶伝説総覧」(共著 常光徹・花部英雄・高木史人)『歴史読本』31巻7号 新人物往来社 1986年4月
14. 「鈴木棠三・小池章太郎編『藤岡屋日記』第一巻(第五) 翻字」三一書房 1987年11月
15. 「いろいろなし二〇選」『民話の手帖』34号 日本民話の会 1987年12月
16. 「江戸の不思議な話—『藤岡屋日記』から」『不思議な世界を考える会会報』13号 1988年9月

-
17. 「四万十川流域と伝蔵」『日本民話の会通信』80号 日本民話の会 1988年11月
 18. 「鈴木棠三・小池章太郎編『藤岡屋日記』第四卷(第三十四) 翻字」三一書房 1988年11月
 19. 「新刊紹介 小平民話の会編『小平ちょっと昔』(小平市教育委員会内・小平郷土研究会刊)『口承文芸研究』12号 日本口承文芸学会 1989年3月
 20. 「奇事異聞(一)」『藤岡屋日記』月報5 三一書房 1989年5月
 21. 「安徳天皇伝説を奉じて山野を漂白する木地師」『歴史読本』特別増刊89-8 新人物往来社 1989年8月
 22. 「昔話の小宇宙—いま昔話を活かす—」『國文學』34巻11号 學燈社 1989年9月
 23. 「奇事異聞(二) 一人魚の予言」『藤岡屋日記』月報6 三一書房 1989年11月
 24. 「鮭の大助」「片葉の葦」など13話再話 伊藤清司監修『ふるさとの伝説九—鳥獸・草木—』ぎょうせい 1990年1月
 25. 「雪国の正月行事—新潟県山古志村の採訪から—」『民話の手帖』42号 日本民話の会 1990年2月
 26. 「民話を語ろう—何が見えますか(一)—」(対談・重信幸彦)『民話と文学の会かいほう』59号 民話と文学の会 1990年3月
 27. 「同じ土俵で」『日本民話の会通信』88号 日本民話の会 1990年3月
 28. 「人面犬素描」『不思議な世界を考える会会報』19号 1990年3月
 29. 「民話散歩 四万十川の河童」『民話の手帖』43号 日本民話の会 1990年5月
 30. 「民話を語ろう—何が見えますか(二)—」(対談・重信幸彦)『民話と文学の会かいほう』61 民話と文学の会 1990年8月
 31. 「学校の世間話」飯島吉晴編『日本文学研究新集10「民話の世界」』有精堂出版 1990年9月
 32. 「民話散歩 能登の三右衛門」『民話の手帖』44号 日本民話の会 1990年8月
 33. 「埼玉の禁忌伝説」など5話再話 伊藤清司監修『ふるさとの伝説十一—地名・由来—』ぎょうせい 1990年10月
 34. 「怪談のすきな子どもたち」『語りの世界』13号 語り手たちの会 1991年5月
 35. 「俗信あれこれ①篇」『日本民話の会通信』95号 日本民話の会 1991年5月
 36. 「俗信あれこれ②篇」『日本民話の会通信』96号 日本民話の会 1991年7月
 37. 「土佐山中での出遭いから—川上今朝道さん」日本民話の会編『語り継ぐふるさとの民話』農山漁村文化協会 1991年8月
 38. 「妖怪・学校を駆け巡る—生徒に広まる怪談の文化的背景を考察」『日本経済新聞』(文化欄)1991年8月20日付
 39. 「学校の怪談を集めてみると」『自然と人間を結ぶ』1991年11月号 農山漁村文化協会 1991年11月
 40. 「俗信あれこれ③篇」『日本民話の会通信』98号 日本民話の会 1991年11月
 41. 「現代の民話 学校の怪談を考える」『グラフねりま』10号 練馬区企画部広報課 1992年3月
 42. 「新刊紹介 飯島吉晴著『子供の民俗学』(新曜社)」『口承文芸研究』15号 日本口承文芸学会 1992年3月
 43. 「俗信あれこれ④篇」『日本民話の会通信』101号 日本民話の会 1992年5月
 44. 「『ハナシ』の変容と現代性(上)」『民話と文学の会かいほう』68号 民話と文学の会 1992年7月
 45. 「世間話と伝説」『日本民話の会通信』102号 日本民話の会 1992年7月
 46. 「椿の民俗」松谷みよ子責任編集『椿の湖—地球環境と民話』童心社 1992年11月
 47. 「『ハナシ』の変容と現代性(下)」『民話と文学の会かいほう』69号 民話と文学の会 1992年11月
 48. 「都会っ子が語り継ぐ民話」(インタビュー記事)『読売新聞』1993年2月22日付
 49. 「子供がささやく現代民話」(インタビュー記事)『サンデー毎日』1993年3月14日号
 50. 「新刊紹介 鈴木棠三著『新編故事ことわざ辞典』(創拓社)」『口承文芸研究』16号 日本口承文芸学会 1993年3月
 51. 「新刊紹介 藤村武男著『津野山のむかし話』(四国写植出版制作室)」『口承文芸研究』16号 日本口承文芸学会 1993年3月
 52. 「おどけもののプロフィール 吉四六」吉沢和夫・松谷みよ子責任編集『チャップリンの笑い寅さんの
-

-
- 笑い—笑いの民俗学』童心社 1993年4月
53. 「河童素描」『神社新報』2235号 神社新報社 1993年8月2日
54. 「なぜ学校は怪談を生むのか—妖怪を求める現代っ子の心のうち—」『キャリアガイダンス』12号 リクルート 1993年12月
55. 「現代を映す民話伝承」『母のひろば』355号 童心社 1993年12月
56. 「うわさとかわら版」『日本のあゆみ探偵図鑑—日本の歴史編』福武書店 1994年4月
57. 「現代のハナシから」(巻頭のことば)『昔話—研究と資料—』22号 三弥井書店 1994年6月
58. 「占いの民俗」(常光徹文・萩原秀三郎写真)日本民話の会編『夢と占い』童心社 1994年10月
59. 「怪談ブームと子どもたち」(インタビュー記事)『子どもと生きる』118号 東京民研 1994年9月
60. 「学校の怪談と子どもの民俗」『長野県民俗の会会報』17号 長野民俗の会 1994年11月
61. 「放送大学共通科目 民俗文化史 第12回『学校の怪談』」(ゲスト出演)主任講師・宮田登(神奈川大学教授) 1994年11月29日収録
62. 「車社会」池田香代子他編『ピアスの白い糸—日本の現代伝説』白水社 1994年11月
63. 「口裂け女」(日本の「鬼」総覧)『歴史読本特別増刊 事典シリーズ』40巻2号 新人物往来社 1995年1月
64. 「俗信の世界(その1) —身近な言い伝え—」『ふるさと紀行』春の号 ふるさと紀行編集部 1995年3月
65. 「俗信の世界(その2) —しぐさの俗信—」『ふるさと紀行』夏の号 ふるさと紀行編集部 1995年6月
66. 「今の子どもたちにとって怪談とは?」『子どものしあわせ—特集 こわいっておもしろい?』520号 草土文化 1995年7月
67. 「今に生きる伝承」(インタビュー記事)『國學院大學学報』1995年7月10日号
68. 「学校の怪談—現代の子ども文化を探る」『高知新聞』1995年8月10日付
69. 「学校の怪談」『児童心理』49巻13号 金子書房 1995年9月
70. 「車社会」近藤雅樹他編『魔女の伝言板—日本の現代伝説』白水社 1995年11月
71. 「親指と霊柩車—現代のオマジナイ」『母のひろば』378号 童心社 1995年11月
72. 「この人に聞く・うわさ話の影にある見えない世界の拡大」(インタビュー記事)『埼玉新聞』1995年11月27日付
73. 「対談 蘇る闇の世界」(小松和彦×常光徹)『アイ・フィール』20号 紀伊国屋書店 1996年5月
74. 「民俗学の手帖から—うわさと俗信—」(60回連載)『高知新聞』1996年9月2日~11月1日
75. 「現代をうつすうわさ話」『歴博』78号 国立歴史民俗博物館 1996年9月
76. 「受験・就職活動」大島広志ほか編『走るお婆さん—日本の現代伝説』白水社 1996年11月
77. 「鏡」大島広志他編『走るお婆さん—日本の現代伝説』白水社 1996年11月
78. 「紹介 中本勝則著・高橋伸樹絵『湯西川のざっとむかし—湯西川の生活と昔話』」『日本民話の会通信』130号 日本民話の会 1997年3月
79. 「編集を終えて」『文芸にいざ』創刊号~5号 新座市教育委員会 1996年~2000年
80. 「翻刻 身寶千両円二不替」(共著 常光徹・花部英雄・小堀光男・小堀美加)『昔話伝説研究』18号 昔話伝説研究会 1997年5月
81. 「学校の怪談は想像力の文化」『毎日新聞 夕刊』1997年8月15日付
82. 「世間話について」『聴く語る 創る』6号 日本民話の会 1998年11月
83. 「身近な言い伝えを考える」『実践教育』18号 実践女子学園中学校・高等学校 1998年
84. 「身近な言い伝え」『げん・き』6回連載 エイデル研究所 1998年~99年
85. 「学校の怪談と色彩」神庭伸彦他監修『色彩から歴史を読む』ダイヤモンド社 1999年2月
86. 「『四万十川民俗誌』を読む」『高知新聞』1999年4月11日付
87. 「初めての採訪」『昔話伝説研究』20号 昔話伝説研究会 1999年5月
88. 「しぐさの民俗」『ちくま』342号 筑摩書房 1999年9月
89. 「対談 民話の世界を語る」(常光徹×松谷みよ子)『歴博』96号 国立歴史民俗博物館 1999年9月
90. 「怪談と子どもの文化」『國學院大學院友会報』298号 1999年10月
-

-
91. 「ジंकスとおまじない」岩倉千春他編『幸福のEメール—日本の現代伝説』白水社 1999年12月
 92. 「新刊紹介 日本民話の会・外国民話研究会編訳『世界の魔女と幽霊』(三弥井書店)『口承文芸研究』23号 日本口承文芸学会 2000年3月
 93. 「死をめぐる現代伝説」宮田登他編『往生考—日本人の生・老・死—』小学館 2000年5月
 94. 「自著紹介『妖怪変化 民俗学の冒険③』(ちくま新書)『歴博』100号 国立歴史民俗博物館 2000年5月
 95. 「想像力と怪談」『母のひろば』435号 童心社 2000年8月
 96. 「〈研究者というメディア〉を読んで」『口承文芸研究』24号 日本口承文芸学会 2001年3月
 97. 「企画展示 異界万華鏡—あの世・妖怪・占い—」『歴博』106号 国立歴史民俗博物館 2001年5月
 98. 「異界万華鏡—見えない世界への想像力—」『国立歴史民俗博物館友の会ニュース』95号 2001年5月
 99. 「異界への想像力」『図書館の学校』24号 図書館流通センター 2001年11月
 100. 「資料の保存と公開」『伝え』1 日本口承文芸学会 2001年9月
 101. 「民話と現代」『民話』2号 山形短期大学民話研究センター 2001年12月
 102. 「土佐お化け草紙」(翻字)『怪』12号 角川書店 2001年12月
 103. 「二股の木の霊性」『ぐりーんもあ』17号 国土緑化推進機構 2002年4月
 104. 「解説 宮田登著『妖怪の民俗学—日本の見えない空間—』ちくま芸文庫 2002年6月
 105. 「日常に染みだす俗信」『読売新聞 夕刊』(文化欄) 2002年8月20日付
 106. 「自著紹介 国立歴史民俗博物館編『異界談義』(角川書店)『歴博』116号 国立歴史民俗博物館 2003年1月
 107. 「書誌紹介 小松和彦著『神なき時代の民俗学』『日本民俗学』233号 日本民俗学会 2003年2月
 108. 「異界へのいざない—怪異・妖怪伝承データベースの試み」(共著 小松和彦・常光徹・山田奨治・中山和之)『総研大ジャーナル』3号 2003年3月
 109. 「時空を超える妖怪物語」『寿』23巻7号 寿出版株式会社 2003年7月
 110. 「鹿猟に参加して」『岡豊風日』48号 高知県立歴史民俗資料館 2003年7月
 111. 「蕎麦切屋の思い出」『新そば』117号 北白川書房 2003年7月
 112. 「異界通じ人間研究」(インタビュー記事)『高知新聞』2003年8月1日付
 113. 「口承文芸の研究と継承—遠野からの発信」『伝え』33号 日本口承文芸学会 2003年9月
 114. 「柔軟な思考」『聴く語る 創る 別冊 特集吉沢和夫』日本民話の会 2003年12月
 115. 「新刊紹介 國學院大學説話研究会・民俗文学研究会編『上川のおんな語り—会津・東蒲口承文芸資料①—』『口承文芸研究』27号 日本口承文芸学会 2004年3月
 116. 「国際研究集会 日韓口承文芸交流」『歴博』127号 国立歴史民俗博物館 2004年11月
 117. 「爪はじきの呪力」『歴博』127号 国立歴史民俗博物館 2004年11月
 118. 「新刊紹介 竹原威滋他編『奈良市民間説話調査報告書』(奈良教育大学教育学部)『口承文芸研究』28号 日本口承文芸学会 2005年3月
 119. 「新刊紹介 広島民俗学会編『広島民俗 第61号』『口承文芸研究』28号 日本口承文芸学会 2005年3月
 120. 「紹介 松谷みよ子著『異界からのサイン』『日本民話の会通信』178号 2005年3月
 121. 「『新耳袋』ゆかりの著名人十人がえらぶ誌上100物語」『幽』3号 メディアファクトリー 2005年7月
 122. 「〈怪異・妖怪の世界にむけて〉」『口承文芸研究』29号 日本口承文芸学会 2006年3月
 123. 「著者に会いたい 身近な日常に新たな発見」(インタビュー記事)『朝日新聞』2006年10月29日付
 124. 「新収資料の公開」『国立歴史民俗博物館友の会ニュース』129号 2007年1月
 125. 「霊柩車を見たら」『北海道新聞』2007年2月7日付
 126. 「研究者紹介 29 日常に息づく伝承」『歴博』141号 国立歴史民俗博物館 2007年3月
 127. 「逢魔が刻—夕暮れの民俗」『朝日ビジュアルシリーズ 週刊藤沢周平の世界 26』朝日新聞社 2007年5月
 128. 「やせ細る知と技」『潮』579号 潮出版社 2007年5月
 129. 「新たな民俗展示への模索」(共著)『歴博』144号 国立歴史民俗博物館 2007年9月
 130. 「厠は何故恐い」『月刊みんぱく』31巻10号 国立民族学博物館 2007年10月
 131. 「山古志村の正月行事」『国立歴史民俗博物館友の会ニュース』135号 2008年1月
-

-
132. 「追悼 野村純一先生」『口承文芸研究』31号 日本口承文芸学会 2008年3月
 133. 「著作解題『江戸東京の噂話—〈こんな晩〉から〈口裂け女〉まで—』『口承文芸への夢—野村純一先生追悼集』野村純一先生追悼集刊行会 2008年6月
 134. 「歴史の証人 怪談・妖怪コレクション」『歴博』149号 国立歴史民俗博物館 2008年7月
 135. 「生活の知恵と伝承」(高知市夏期大学講演記事)『高知新聞』2008年8月9日付
 136. 「爆笑問題のニッポンの教養〈“学校の怪談”のヒ・ミ・ツ 常光徹〉」(爆問学問出演)NHK 2008年9月17日
 137. 「民話というもの—昔話, 伝説, そして世間話」『怪』26号 角川書店 2009年4月
 138. 「人間文化研究機構連携展示 百鬼夜行の世界」『歴博』155号 国立歴史民俗博物館 2009年7月
 139. 「『百鬼夜行図』『百鬼夜行絵巻』解説」人間文化研究機構編『百鬼夜行の世界』2009年7月
 140. 「人間文化研究機構 第10回公開講演会・シンポジウム パネル・ディスカッション—百鬼夜行の世界」(司会)『人間文化』10号 人間文化研究機構 2009年10月
 141. 「連携展示『百鬼夜行の世界』」『国文研ニュース』17号 2009年10月
 142. 「ふしぎな世界と空間」福田アジオ他編『図説 日本民俗学』吉川弘文館 2009年11月
 143. 「討論『日本の民俗』2 自然・環境・暮らしと民俗学」(安室知×池谷和信×鬼頭秀一×常光徹)湯川洋司他編『日本の民俗 13 民俗と民俗学』吉川弘文館 2009年12月
 144. 「俗文献目録」共同研究「兆・応・禁・呪の民俗誌」(代表・常光徹)調査報告書 国立歴史民俗博物館 2010年3月
 145. 「民俗編に期待」『市史研究 市川』市川市役所文化国際部市史編さん担当 2010年3月
 146. 「新刊紹介 石井正己著『民俗学と現代—批評の宝石たち』(三弥井書店)」『口承文芸研究』33号 日本口承文芸学会 2010年3月
 147. 「シンポジウムに参加して」『方法論としての民俗地図』跡見学園女子大学文学部人文学科倉石研究室 2010年7月
 148. 「この世とあの世はバランスがとれている」(インタビュー記事)『Maholoba』4号 サンクチュアリ出版 2010年7月
 149. 「対談 普遍的な『怪談』文化の魅力」(常光徹×平山夢明)『新刊ニュース』9月号 株式会社トーハン 2010年9月
 150. 「俗信—身近な言い伝え—」『歴博』163号 国立歴史民俗博物館 2010年11月
 151. 「カラス鳴きと死の予兆」『歴博』163号 国立歴史民俗博物館 2010年11月
 152. 「研究レポート部門選評」『第6回〈地域の伝承文化に学ぶ〉コンテスト入賞作品集』國學院大學総合企画部広報課 2011年2月
 153. 「紹介 立石憲利著『55年前は泣き女がいた』(吉備人出版)」『民話の会通信』213号 日本民話の会 2011年1月
 154. 「手形と魔除け」中国民間故事調査会『中国民話の旅』三弥井書店 2011年2月
 155. 「新刊紹介 千野明日香著『中国のことわざ』(大修館書店)」『口承文芸研究』34号 日本口承文芸学会 2011年3月
 156. 「天気と俗信」『歴博』165号 国立歴史民俗博物館 2011年3月
 157. 「『耳ふさぎ』と『忘れられない話』」『月刊みんぱく』35巻4号 国立民族学博物館 2011年4月
 158. 「河童・天狗—妖怪って何ですか 想像が生んだ超自然的存在」(インタビュー記事)『朝日新聞 千葉版』2011年6月14日付
 159. 「特集展示 妖怪変化の時空」『歴博』167号 国立歴史民俗博物館 2011年7月
 160. 「予言をする妖怪・姫魚と尼彦」『文部科学教育通信』272号 ジアース教育新社 2011年7月
 161. 「予言獣と庶民生活」『怪』33号 角川書店 2011年7月
 162. 「百鬼夜行図」『月刊展覧会ガイド』8月号 2011年8月
 163. 「特集展示 妖怪変化の時空」『国立歴史民俗博物館 友の会ニュース』156号 2011年8月
 164. 「人は、光と闇とでバランスをとっている」(インタビュー記事)『Recreu』624号 公益財団法人日本
-

レクリエーション協会 2011年8月

165. 「百鬼夜行絵巻」『文部科学教育通信』279号 ジアース教育新社 2011年11月
166. 「怪異・妖怪文化」『歴博』170号 国立歴史民俗博物館 2012年1月
167. 「歴博対談 51 小松和彦×常光徹一広がる怪異・妖怪研究一」『歴博』170号 国立歴史民俗博物館 2012年1月
168. 「歴史の証人 風説と怪異・妖怪一流行病と予言獣」『歴博』170号 国立歴史民俗博物館 2012年1月
169. 「人力車に乗った疫神」『文部科学教育通信』284号 ジアース教育新社 2012年1月
170. 「研究レポート部門選評」『第7回〈地域の伝承文化に学ぶ〉コンテスト入賞作品集』國學院大學総合企画部広報課 2012年2月
171. 「解題―世間話, 現代伝説, 話し手への視線―」野村純一『野村純一著作集 第七巻 世間話と怪異』清文堂 2012年5月
172. 「河童に会いに来てください」『日本民話の会通信』221号 日本民話の会 2012年6月
173. 「異界をのぞく呪的なしぐさ」『国際シンポジウム報告書Ⅲ カラダが語る人類文化一形質から文化まで一』国際常民文化研究機構・神奈川大学日本常民文化研究所 2012年7月
174. 「思い出すこと」(追悼 吉沢和夫さん)『日本民話の会通信』222号 日本民話の会 2012年7月
175. 「河童」『大法輪』79巻9号 大法輪閣 2012年9月
176. 「みんわと言葉」『平成23年度国際子ども図書館 児童文学連続講座講義録<児童文学とことば>』国立国会図書館国際子ども図書館 2012年10月
177. 「解説 多様な民俗文化の交わり」宮本常一『周防大島昔話集』河出書房新社 2012年11月
178. 「昔話の諸相 世間話」『秋田魁新報』(文化欄) 2012年11月16日付
179. 「柳田国男と災害の話」『聴く 語る 創る一特集 東日本大震災を語り継ぐ』21号 日本民話の会 2013年1月
180. 「特集 列島の民俗文化〈第4展示室新構築〉妖怪の世界」『歴博』176号 国立歴史民俗博物館 2013年1月
181. 「昔話・伝説・言い伝えなどによる地域活性化事業」『伝え』52号 日本口承文芸学会 2013年2月
182. 「研究レポート部門選評」『第8回〈地域の伝承文化に学ぶ〉コンテスト入賞作品集』國學院大學総合企画部広報課 2013年3月
183. 「『昔話・伝説・言い伝えなどによる地域活性化事業』を推進して」『文化庁「文化遺産を活かした観光振興・地域活性化事業」採択事業 昔話・伝説・言い伝えなどによる地域活性化事業事業報告書』秋田県教育庁生涯学習課文化財保護室 2013年3月
184. 「第五章 語る・遊ぶ・祈る リード文」『新横須賀市史 別編 民俗』横須賀市 2013年6月
185. 「三浦大介伝説」『新横須賀市史 別編 民俗』横須賀市 2013年6月
186. 「病をめぐる不安と祈り」『新横須賀市史 別編 民俗』横須賀市 2013年6月
187. 「河童を展示する」『本郷』106号 吉川弘文館 2013年7月
188. 「土佐の俗信と妖怪」『文化高知』174号 公益財団法人高知市文化振興事業団 2013年7月
189. 「土佐異界談義 豊かな想像が妖怪生む」(講演記事)『高知新聞』2013年7月31日付
190. 「日本人の心意現象を民俗学から明らかにする」(著者に会いたい・インタビュー記事)『サライ』25巻10号 小学館 2013年9月
191. 「れきはく井戸端会議 展示室 Q&A」『歴博』180号 国立歴史民俗博物館 2013年9月
192. 「物の怪と忌み嫌われし身近なものども」(インタビュー記事)『男の隠れ家 時空旅人別冊』三栄書房 2013年10月
193. 「書物逍遥『土佐源氏』の思いで」『ミネルヴァ通信 究』33号 ミネルヴァ書房 2013年12月
194. 「研究レポート部門選評」『第9回〈地域の伝承文化に学ぶ〉コンテスト入賞作品集』國學院大學総合企画部広報課 2014年3月
-

IX 児童書関係

1. 『学校の怪談』(174頁)(絵・檜喜八) 講談社 1990年11月
2. 『学校の怪談 2』(182頁)(絵・檜喜八) 講談社 1991年8月
3. 『学校の怪談 3』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 1992年6月
4. 『学校の怪談 4』(182頁)(絵・檜喜八) 講談社 1993年4月
5. 『学校の怪談 5』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 1994年5月
6. 『学校の怪談 6』(174頁)(絵・檜喜八) 講談社 1994年12月
7. 『妖怪図鑑』(絵本 絵・飯野和好) 童心社 1994年12月
8. 『学校の怪談 7』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 1995年7月
9. 『怪談レストラン』シリーズ, 全50巻(編集委員・共著) 童心社(1996年~2007年)
10. 『学校の怪談 8』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 1996年7月
11. 『こっこくりさんはきつね』(松谷みよ子他との共編) ほるぷ出版 1997年1月
12. 『歌うがいこつー妖怪ばなし』(吉沢和夫他との共編) ほるぷ出版 1997年4月
13. 『学校の怪談 9』(164頁)(絵・檜喜八) 講談社 1997年6月
14. 『妖怪絵巻』(絵本 絵・飯野和好) 童心社 1997年6月
15. 『歴史図鑑1 もうひとつの世界—妖怪・あの世・占い—』(大久保純一他との共著) 岩崎書店 2001年8月
16. 『なぜ、おふろにしょうぶをいれるの?』(紙芝居・絵 伊藤秀男) 童心社 2001年9月
17. 『げんごろうの てんのほり』(絵本 絵・倉石琢也) 世界文化社 2004年7月
18. 『新学校の怪談①』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 2005年8月
19. 『さるかにがっせん』(絵本 絵・瀧原愛治) 世界文化社 2005年10月
20. 『新学校の怪談②』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 2006年7月
21. 『新学校の怪談③』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 2007年7月
22. 『新学校の怪談④』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 2008年7月
23. 『新学校の怪談⑤』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 2009年6月
24. 『都市伝説クイズ』(高津美保子他との共編) ほるぷ出版 2010年5月
25. 『学校の怪談 A 小学校の非常階段』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 2010年6月
26. 『妖怪伝説大百科 上巻』(監修・米屋陽一他との共著) ポプラ社 2011年3月
27. 『伝説妖怪大百科 下巻』(監修・米屋陽一他との共著) ポプラ社 2011年3月
28. 『学校の怪談 B 組にきた転校生』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 2011年6月
29. 『おにはそと ふくはうち』(絵本 絵・梶山俊夫) 世界文化社 2012年2月
30. 『てんぐのかれみの』(紙芝居・絵 長野ヒデ子) 童心社 2012年7月
31. 『学校の怪談 C 池の伝説』(166頁)(絵・檜喜八) 講談社 2012年7月
32. 『きんたろう』(絵本 絵・花之内雅吉) 世界文化社 2013年5月
33. 『学校の怪談 D 高原のきもだめし』(158頁)(絵・檜喜八) 講談社 2013年6月
34. 『怪談オウマガドキ学園』シリーズ 1~5巻(責任編集・共著) 童心社 2013年

X 児童書解説・再話など

1. 「解説 松谷みよ子・吉沢和夫監修『ねこの正月(おはなし12か月①)』」株式会社国土社 1991年1月
2. 「もの花酒」(再話) 松谷みよ子・吉沢和夫監修『かえるばたもち(おはなし12か月③)』株式会社国土社 1991年3月
3. 「いなな地ぞう」(再話) 松谷みよ子・吉沢和夫監修『花さかじい(おはなし12か月・春休みのおはなし)』株式会社国土社 1991年4月
4. 「解説 松谷みよ子・吉沢和夫監修『花さかじい(おはなし12か月・春休みのおはなし)』」株式会社国土社 1991年4月
5. 「解説 松谷みよ子・吉沢和夫監修『田うえねこ(おはなし12か月⑥)』」株式会社国土社 1991年6月
6. 「天人のよめさま」(再話) 松谷みよ子・吉沢和夫監修『かっぱのおくりもの(おはなし12か月⑦)』株式

-
- 会社国土社 1991年7月
7. 「解説 トイレのこわい話」学校の怪談編集委員会編『放課後のトイレはおばけがいっぱい』ポプラ社 1991年8月
 8. 「解説 松谷みよ子・吉沢和夫監修『あめかいゆうれい(おはなし12か月⑩)』」株式会社国土社 1991年8月
 9. 「たんぎくどん」(再話)『楽しいわが家』39巻8号 全国信用金庫協会 1991年8月
 10. 「解説 校舎のこわい話」学校の怪談編集委員会編『保健室のねむり姫』ポプラ社 1991年9月
 11. 「放課後のこわい話」学校の怪談編集委員会編『放送室に消えた先生』ポプラ社 1992年1月
 12. 「解説 学校の七不思議」学校の怪談編集委員会編『学校の七不思議』ポプラ社 1992年2月
 13. 「解説 夏休み・冬休みのこわい話」学校の怪談編集委員会編『真夜中のミステリー・ツアー』ポプラ社 1992年3月
 14. 「解説 いろいろな妖怪」学校の怪談編集委員会編『体育館であそぶ霊』ポプラ社 1992年12月
 15. 「解説 現代の妖怪」学校の怪談編集委員会編『こっくりさんきてください』ポプラ社 1993年2月
 16. 「百物語・七不思議なんでも対談」(米屋陽一×常光徹)学校の怪談編集委員会編『夜の理科室でわらうガイコツ』ポプラ社 1993年2月
 17. 「解説 民話にこめられたもの」松谷みよ子著『松谷みよ子の本 第9巻 伝説・神話』講談社 1995年10月
 18. 「魂」「河童」「魔の空間」他 日本民話の会学校の怪談編集委員会編『学校の怪談大事典』ポプラ社 1996年4月
 19. 「幽霊屋敷」(再話)『怪談レストラン1—幽霊屋敷レストラン』童心社 1996年7月
 20. 「解説『怪談レストラン1—幽霊屋敷レストラン』」童心社 1996年7月
 21. 「魔女の黒猫」(再話)『怪談レストラン2—化け猫レストラン』童心社 1996年7月
 22. 「子どもと怪談」『母のひろば』386号 童心社 1996年7月
 23. 「おまえだ」(再話)『怪談レストラン3—殺人レストラン』童心社 1996年8月
 24. 「解説『怪談レストラン3—殺人レストラン』」童心社 1996年8月
 25. 「幽霊トンネル」(再話)『怪談レストラン4—幽霊列車レストラン』童心社 1996年9月
 26. 「くちさけ女」(再話)『怪談レストラン5—妖怪レストラン』童心社 1996年10月
 27. 「能登の三右衛門」(再話)『楽しいわが家』45巻1号 全国信用金庫協会 1997年1月
 28. 「妖怪いろいろ」松谷みよ子他編『歌うがいこつ—妖怪話』ほるぷ出版 1997年4月
 29. 「新刊紹介 妖怪たちの祭り『妖怪絵巻』」「母のひろば」397号 童心社 1997年6月
 30. 「夢とちがうじゃないか」(再話)『怪談レストラン6—金しばりレストラン』童心社 1997年6月
 31. 「走るおばあちゃん」(再話)『怪談レストラン7—魔女のレストラン』童心社 1997年6月
 32. 「うつつていたのは」(再話)『怪談レストラン8—鏡のうらがわレストラン』童心社 1997年6月
 33. 「墓地にでた魔物」(再話)『怪談レストラン9—墓場レストラン』童心社 1998年2月
 34. 「理科室のがい骨」(再話)『怪談レストラン14—がい骨レストラン』童心社 2001年1月
 35. 「解説『怪談レストラン15—魔界レストラン』」童心社 2001年1月
 36. 「解説・安寿姫と厨子王丸」『新・講談社の絵本12』講談社 2001年3月
 37. 「解説・一寸法師」『新・講談社の絵本2』講談社 2001年4月
 38. 「解説・猿蟹合戦」『新・講談社の絵本5』講談社 2001年6月
 39. 「子どもの『なぜ? どうして?』に答える」『母のひろば』449号 童心社 2001年10月
 40. 「ねずみきょう」(再話)『松谷みよ子 かたりの昔話 ママお話しかせて やさしい心を育てるお話編』小学館 2002年4月
 41. 「解説・一休さん」『新・講談社の絵本15』講談社 2002年5月
 42. 「夢のつづき」(再話)『怪談レストラン22—悪夢のレストラン』童心社 2002年6月
 43. 「すごい手相」(再話)『怪談レストラン24—占いレストラン』童心社 2002年11月
 44. 「解説『怪談レストラン25—百物語レストラン』」童心社 2002年11月
 45. 「記念写真」(再話)『怪談レストラン26—心霊写真レストラン』童心社 2003年6月
-

-
46. 「猫描き太郎」(再話)『楽しいわが家』全国信用金庫協会 2003年6月
 47. 「解説『怪談レストラン35—おまじないレストラン』」童心社 2004年12月
 48. 「リカちゃんの電話」(再話)『怪談レストラン36—謎のメールレストラン』童心社 2005年5月
 49. 「解説『怪談レストラン37—人食い花レストラン』」童心社 2005年5月
 50. 「ゴール」(再話)『怪談レストラン40—丑三つ時レストラン』童心社 2005年12月
 51. 「解説『怪談レストラン42—紫ババアレストラン』」童心社 2006年5月
 52. 「河童ってどんな妖怪」(「歴史の時間」第70回)『毎日小学生新聞』2006年8月11日付
 53. 「妖怪と幽霊はどう違うの」(「歴史の時間」第71回)『毎日小学生新聞』2006年8月18日付
 54. 「妖怪の正体を見抜く方法は」(「歴史の時間」第72回)『毎日小学生新聞』2006年8月25日付
 55. 「七不思議って何」(「歴史の時間」第73回)『毎日小学生新聞』2006年9月1日付
 56. 「一週間後」(再話)『怪談レストラン43—虫の知らせレストラン』童心社 2006年9月
 57. 「影とり沼」(再話)『怪談レストラン44—死の影レストラン』童心社 2006年9月
 58. 「氷が売れなくなった話」(再話)『怪異百物語10』ポプラ社 2007年2月
 59. 「鶴屋南北の東海道四谷怪談」『怪異百物語10』ポプラ社 2007年2月
 60. 「むかしばなし世界に子どもたちを誘う絵本」『母のひろば』童心社 2008年8月
 61. 「妖怪絵ばなし」10回連載(監修・常光徹 絵・伊藤秀男)『朝日小学生新聞』2012年7月～9月
 62. 「怖くて楽しい 妖怪は文化」(インタビュー記事)『朝日小学生新聞』2012年7月25日付
 63. 「妖怪と想像力」『母のひろば』580号 童心社 2012年9月
 64. 「解説 中脇初枝再話『女の子の昔話』」偕成社 2012年10月
 65. 「約束」(再話)『怪談オウマガドキ学園—真夜中の入学式』童心社 2013年7月
 66. 「ニョキニョキの話」(再話)『怪談オウマガドキ学園—放課後の謎メール』童心社 2013年7月
 67. 「新刊紹介『怪談オウマガドキ学園』が出たよ」『母のひろば』590号 童心社 2013年7月
 68. 「妖怪たちとともにいざ、『民話』の世界へ」(インタビュー記事)『図書新聞』2013年8月17日号
 69. 「夜のクモ」(再話)『怪談オウマガドキ学園—テスト前には占いを』童心社 2013年10月
 70. 「最終のバス」(再話)『怪談オウマガドキ学園—遠足は幽霊バスで』童心社 2013年10月

XI 講演・講座・シンポジウムなど(歴博着任以降)

1. 「うわさと俗信—身近な言い伝えから—」(講義)『平成10年度 鬼学講座ノート～鬼の源流をもとめて～』(1998年7月19日・会場 北上市立鬼の館) 主催:北上市立鬼の館
2. 「学校の怪談と子どもの文化」(講演)『鹿児島県歴史資料センター黎明館講演会』(1998年7月25日・会場 黎明館) 主催:鹿児島県歴史資料センター黎明館
3. 「しぐさの民俗」(講演)『岡山民俗学会創立50周年記念』(1998年11月23日・会場 岡山県婦人会館) 主催:岡山民俗学会
4. 「学校の怪談、現代のおまじない」(講義)『千葉市民文化大学』(2000年7月13日・会場 千葉市民文化センター) 主催:千葉市文化振興財団
5. 「異界万華鏡 企画展示の意図」(報告)『第34回歴博フォーラム』(2001年7月20日・会場 国立歴史民俗博物館講堂) 主催:国立歴史民俗博物館
6. 「民話と現代」(講演)『山形短期大学公開講座』(2001年10月21日・会場 山形短期大学) 主催:山形短期大学
7. 「怪談と子どもの文化 民俗学からみた子ども」(講演)『同志社女子大学東京講座—児童問題と心理学』(2001年11月11日・会場 同志社大学東京アカデミー) 主催:同志社女子大学
8. 「妖怪の民俗について」(講演)『國學院大學公開講座』(2001年12月8日・会場 國學院大學) 主催:國學院大學
9. 「妖怪の民俗」(講演)『企画展示 あの世・妖怪・占い—異界万華鏡—関連イベント』(2002年4月27日・会場 香川県歴史博物館講堂) 主催:香川県歴史博物館
10. 「遠野物語—物語から民俗学へ—」(報告)『柳田国男を読む—日本を考えるために—』(2002年5月29日・

-
- 会場 神奈川大学) 主催: 神奈川大学
11. 「昔話と民俗」(講演)『語りの文化講座—日本の昔話—』(2002年6月8日・会場 國學院大學) 主催: 國學院大學
 12. 「妖怪の民俗」(講演)(2002年8月4日・会場 群馬県立歴史博物館) 主催: 群馬県立歴史博物館
 13. 「現代異界考」(講演)(2002年9月14日・会場 鳥取県立博物館) 主催: 鳥取県立博物館
 14. 「現代の怪談と妖怪」(講演)(2002年10月19日・会場 長野市立博物館) 主催: 長野市立博物館
 15. 「シンポジウム『現代における伝承文化の意義・口承文芸』」(報告) 日本民俗学会第800回談話会(2002年12月8日・会場 國學院大學) 主催: 日本民俗学会
 16. 「民話の俗信的世界①昔話と俗信」(講義)(2003年5月10日・会場 新宿住友ビル43階) 主催: 朝日カルチャーセンター
 17. 「民話の俗信的世界②伝説と俗信」(講義)(2003年5月24日・会場 新宿住友ビル43階) 主催: 朝日カルチャーセンター
 18. 「学校と子どもたちの伝承」(講演)『第53回〈社会を明るくする運動〉』(2003年7月15日・会場 宇和島市総合福祉センター) 主催: 宇和島市推進大会宇和島市総合福祉センター
 19. 「異界と妖怪」(講演)(2003年7月26日・会場 高知県立歴史民俗資料館) 主催: 高知県立歴史民俗資料館
 20. 「生死の境—生とよみがえり」(講義)『國學院大學横浜市民大学講座』(2003年11月22日・会場 國學院大學たまプラーザキャンパス) 主催: 國學院大學
 21. 「学校の怪談」(講義)『市民講座』(2004年7月24日・会場 海老名市立中央公民館) 主催: 海老名市立中央公民館
 22. 「魔よけと俗信」(講義)『市民講座』(2004年7月31日・会場 海老名市立中央公民館) 主催: 海老名市立中央公民館
 23. 「口承文芸のなかの妖怪」(講義)『野田市中央公民館市民講座』(2004年11月17日・会場 野田市中央公民館) 主催: 野田市中央公民館
 24. 「しぐさの民俗」(講演)『國學院大學国文学会大会』(2004年11月20日・会場 國學院大學) 主催: 國學院大學国文学会
 25. 「しぐさの民俗学」(講演)『群馬歴史民俗研究大会』(2005年6月5日・会場 前橋市中央公民館) 主催: 群馬歴史民俗研究会
 26. 「シンポジウム〈怪異・妖怪の世界〉」(司会)『日本口承文芸学会大会』(2005年6月5日・会場 同志社大学) 主催: 日本口承文芸学会
 27. 「シンポジウム〈昔話とメディア〉」(司会)『日本昔話学会』(2005年7月2日・会場 京都女子大学) 主催: 日本昔話学会
 28. 「海の怪異と妖怪」(講演)(2006年10月8日・会場 稲毛記念館) 主催: 稲毛記念館
 29. 「シンポジウム〈語りの文化からみた日本民俗学の今後〉」(コメンテータ)『日本民俗学会年会』(2006年10月14日・会場 山形大学) 主催: 日本民俗学会
 30. 「しぐさの民俗」(講演)『第281回 歴博講演会』(2007年5月12日・会場 国立歴史民俗博物館講堂) 主催: 国立歴史民俗博物館
 31. 「縁切り榎—世間話と呪い」(講義)『國學院大學オープンカレッジ』(2007年7月14日・会場 國學院大學) 主催: 國學院大學
 32. 「ことわざと俗信」(講演)『ことわざ学会創立大会』(2007年9月22日・会場 明治大学) 主催: ことわざ学会
 33. 「ねずみの俗信」(報告)『第64回歴博フォーラム 新春ねずみづくし』(2008年1月19日・会場 津田ホール) 主催: 国立歴史民俗博物館
 34. 「生活の知恵と伝承」(講演)『第58回高知市夏期大学』(2008年8月7日・会場 高知市文化プラザかるぼーと大ホール) 主催: (財)高知市文化振興事業団 高知市教育委員会他
 35. 「学校の怪談とその機能」(講演)(2008年9月5日・会場 韓国 中央大学校) 主催: 中央大学校
 36. 「パネルディスカッション 百鬼夜行の世界」(司会)『人間文化研究機構第10回公開講演会・シンポジウム〈百鬼夜行の世界〉』(2009年7月11日・会場 有楽町朝日ホール) 主催: 人間文化研究機構(国立
-

-
- 歴史民俗博物館・国文学研究資料館・国際日本文化研究センター)
37. 「昔話と生活道具」(講義)『國學院大學オープンカレッジ〈語りの講座〉』(2010年7月10日・会場 國學院大學渋谷キャンパス) 主催:國學院大學
 38. 「『遠野物語』の俗信的世界」(講義)『遠野物語発刊百周年記念講座 第2回』(2010年7月24日・会場 新宿エコギャラリー) 主催:日本民話の会
 39. 「俗信と心のくせー現代の怪談とおまじないー」(講演)『ノートルダム清心女子大学文学部現代社会学科主催 第二回学術講演会』(2010年11月24日・会場 ノートルダム清心女子大学) 主催:ノートルダム清心女子大学文学部現代社会学科
 40. 「予言する妖怪ー妖怪の民俗文化ー」(講演)『博物館の怪談〜新潟の妖怪と妖怪博士・井上円了〜』記念講演会』(2011年5月29日・会場 新潟県立歴史博物館) 主催:新潟県立歴史博物館
 41. 「オバケの気持ちを考えるー日本の物の怪ー」(講演)『平成23年度第1回こどもの城児童厚生員等実技指導講習会』(2011年6月8日・会場 こどもの城) 主催:財団法人児童育成協会こどもの城企画研究部
 42. 「国立歴史民俗博物館の基本理念と基本方針」(報告)(2011年7月18日・会場 韓国 国立民俗博物館) 主催:韓国 国立民俗博物館
 43. 「語りの魅力ー佐渡の昔話ー」(基調報告)『シンポジウム 佐渡の民俗文化ー語り・芸能・祈りー』(2011年11月3日・会場 金井能楽堂) 主催:新潟大学人文学部
 44. 「民話とことば」(講義)『国際子ども図書館児童文学連続講座』(2011年11月7日・会場 国際子ども図書館3階ホール) 主催:国立国会図書館国際子ども図書館
 45. 「異界をのぞく呪的なしぐさ」(報告)『国際常民文化研究機構第3回国際シンポジウム〈カラダが語る人類文化ー形質から文化までー〉』(2011年12月10日・会場 神奈川大学) 主催:神奈川大学国際常民文化研究機構
 46. 「フォーラム〈河童とはなにか〉」(趣旨説明)『第84回歴博フォーラム〈河童とはなにか〉』(2012年7月28日・会場 早稲田大学大隈記念講堂) 主催:国立歴史民俗博物館
 47. 「錦絵にみる風説と怪異・妖怪」(講義)『江戸歴史講座第11回』(2012年8月27日・会場 日比谷図書文化館) 主催:日比谷図書文化館
 48. 「くらしの中の不思議な世界ー俗信・怪異・怪談ー」(講演)『特別展関連講演会』(2012年11月30日・会場 江東区深川江戸資料館) 主催:江東区深川江戸資料館
 49. 「モノ・言葉・心意ー俗信と民間説話ー」(講演)『説話・伝承学会2013年度大会』(2013年4月27日・会場 静岡文化芸術大学) 主催:説話・伝承学会
 50. 「伝承について」(講演)『江戸川学園取手講演会』(2013年5月22日・会場 江戸川学園取手中高等学校オーデトリウムホール) 主催:江戸川学園取手中高等学校
 51. 「土佐の俗信と妖怪」(講演)『公開講演と学術セミナー〈土佐異界談義〉』(2013年7月27日・会場 高知県立大学永国寺キャンパス) 主催:総合研究大学院大学文化科学研究科日本歴史研究専攻 国立歴史民俗博物館
 52. 「身近な言い伝えー現代の民俗ー」(基調講演)『第90回歴博フォーラム〈現代社会と民俗文化〉』(2013年9月21日・会場 東京証券会館ホール) 主催:国立歴史民俗博物館
 53. 「妖怪と異界」(講義)『民話に学ぶ暮らしのヒント』(2013年9月27日・会場 小平市中央公民館) 主催:小平市教育委員会
 54. 「妖怪の民俗文化」(講演)『藤蔵・勝五郎生まれ変わり記念日講演会』(2013年10月6日・会場 高幡不動五重塔地下ホール) 共催:高幡不動尊金剛寺 日野市郷土資料館勝五郎生まれ変わり物語探求調査団
 55. 「公開講演会〈怪異・妖怪文化の伝統と創造〉」(パネリスト)『国際日本文化研究センター第45回国際研究集会』(2013年11月25日・会場 国際日本文化研究センター講堂) 主催:国際日本文化研究センター
 56. 「日韓の昔話研究の一視点ー〈たにし長者〉と〈ひきがえる息子〉ー」(基調講演)『歴博国際シンポジウム日韓比較民俗研究の新視点』(2013年12月8日・会場 新宿明治安田生命ホール) 主催:国立歴史民俗博物館
 57. 「怪談・妖怪コレクションから」(講演)『第361回 歴博講演会』(2014年1月11日・会場 国立歴史民俗博物館講堂) 主催:国立歴史民俗博物館
-